

再生医療

どこまで何ができるの？どんな病気でも治るの？

■講座内容

医学の進歩はめまぐるしく、難病・不治の病と言われていた病気の治療にも光明が差し込んできました。iPS細胞や幹細胞による再生医療や、鋳型に細胞を組み合わせ移植する組織工学治療、3Dプリント技術による再生など、現在すでに治療として提供されつつある技術もあります。そのためマスコミから伝わるニュースは、患者さんやその家族に今後の希望を与えるとともに、再生医療を受けることで直ちにすべての病気が治るかの様な錯覚を持たせています。

再生医療は生殖細胞の再生で生命誕生にかかわる生命倫理や、細胞・組織・臓器の補填を行うことで移植医療同様に死の概念をかえて行く可能性を含んでいます。さらに、薬の作用には主作用と副作用がある様に、再生医療にも随伴するリスクが存在します。患者さんに提供される医療として何がはじまっているのかを紹介します。

| | |
|---------|-----------------------|
| 開講日時 | 9/23(土) 14:00~15:30 |
| 対象・定員 | 一般・学生(中学生以上) 50人程度 |
| 会場 | 福岡大学 |
| 受講料 | 無料 |
| 受付・申込方法 | 先着順 5ページの申込方法参照 |

■講師

小玉 正太 福岡大学医学部教授